佳作

だいすきなまえ

荒川区立第二峡田小学校一年

瀧田 侑依

やなぎだくにおせんせいへ

わたしのなまえは、「はまだゆい」といいます。
わたしはこのなまえをきにっています。「ゆい
ちゃん」とみんながよんでくれてかわいいなまえ
だからです。

このほんは、「しげる」というおとこのこのよう
ななまえの、おんなのこのおはなしです。しげち
ゃんはにゆうがくしきで、みずいろのなまえカー
ドがよういされていたり、おともだちのおにいち
ゃんから、かえうたをつくられて、ばかにされた
りして、じぶんのなまえがだいきらいでした。

このほんをよんでいちばんおもしろかったこ
ろは、てんてんをけして「しける」にしてみたり、
けしゴムで「シ」のじを「ツ」にして「ツゲル」
にしたり、「モモ」「や」「サユリ」とよばれるれん
しゅうをしていたところでした。

しげちゃんがうまれるまえ、おとこのこがうま
れてきたけど、すぐになくなってしまったから「し
げる」にしたこと、おにいちゃんのぶんまでいき
てほしいというねがいをこめたじをつけたことを
しり、「しげる」というなまえがすこしすきになり
ました。

わたしもおとうさんにきいてみました。「侑」に
はたすけるといいうみがあり、まわりのひととな
かよくげんきにそだってほしいというねがいがこ
められているときいて、じぶんのなまえがますま

すだいすきになりました。これからもじぶんのな
まえをたいせつにしたいとおもいました。

やなぎだせんせい、じぶんのなまえがすきで
すか。